

第 35 回新中間処理施設整備検討会議（開催概要）

1 開催日時 令和 5 年 8 月 31 日（金）14 時 00 分～15 時 00 分

2 開催場所 くりりんプラザ 2 階研修室

3 出席者

（1）構成員

帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

（2）オブザーバー

十勝総合振興局生活環境課

（3）事務局

くりりんセンター

1. 開会

（施設担当次長）

本日は、お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。

ただいまから、第 35 回新中間処理施設整備検討会議を開催いたします。

施設担当次長の福原でございます。本日は、私が議長として進行させていただきます。

本日は、全ての構成市町村が出席しております。

2. 議事

（施設担当次長）

それでは、議事に入ります。

『議事（1）新中間処理施設整備事業について』事務局より説明いたします。

（事務局）

それでは新中間処理施設整備事業について、ご説明いたします。【資料 1】をご覧ください。

こちらは、8 月 25 日に開催しました、第 5 回 PFI 事業等審査委員会において、最優秀提案者が選定され、組合において本事業の落札者を決定した際に、組合ホームページにて公表した資料となっております。

落札者につきましては、「3. 落札者」をご覧ください。

落札者は、JFE エンジニアリンググループとなりました。代表企業は、JFE エンジニアリング株式会社 北海道支店 となっており、構成員 及び 協力企業につきましては、記載のとおりとなっております。

「4. 落札金額」につきましては、4 8 6 億 1 千万円となっております。設計・建設業務に係る対価の内訳額は 3 1 3 億 3 千万円となっており、運営事業に係る対価の内訳額は 1 7 2 億 8 千万円となっております。こちらは、それぞれ 税抜き金額となっております。

裏面をご覧ください。「5. 審査結果」について、ご説明いたします。

本事業への入札については、現施設のくりりんセンターを運営している 荏原環境プラントを代表企業とした『荏原環境プラントグループ』と、『JFE エンジニアリンググループ』の2グループの参加申込みがありました。最優秀提案者の選定については、技術提案と入札価格に関する得点を合計した 総合評価値により決まり、審査結果については、表のとおりとなっております。

総合評価値は、『荏原環境プラントグループ』が73.20点、『JFE エンジニアリンググループ』が80.47点という結果でした。審査委員会が最優秀提案者を選定した結果を踏まえ、組合において落札者を決定したものととなります。

表の下に記載しておりますが、審査委員会による審査において、『JFE エンジニアリンググループ』の提案は、施設の安全性及び安定稼働、混雑対策及び動線計画、運転管理等の審査項目において特に優れた内容でした。また、資源化量の最大化と最終処分量の最小化を進める提案となっていることなどが評価されました。

審査の詳細については、9月下旬に「審査講評」として公表する予定となっております。

【資料1】の説明は以上となります。

落札者である『JFE エンジニアリンググループ』から提出された提案概要を【資料2】として、配付しております。

こちらは、入札時点で提出された提案概要であり、今後の実施設計を進める中で、内容が変更となることがありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

続きまして、【資料3 令和5年度 今後のスケジュール（予定）】について、ご説明します。本日の検討会議以降についてですが、9月下旬に 審査講評の公表を予定しておりまして、落札者との基本協定締結についても、9月下旬を予定しております。10月下旬には、第37回 新中間処理施設整備検討会議 を開催し、全体事業費について、ご説明させていただく予定となっております。11月上旬には、落札者と事業契約について仮契約を締結し、11月下旬の組合議会を経て、事業契約が成立する予定となっております。また、令和6年1月下旬には、新中間処理施設整備検討会議 を開催し、工事スケジュール等について、ご説明させていただくことを考えております。

9月下旬に組合ホームページで公表予定としている審査講評の内容については、落札者決定までの経過、審査委員会の委員の氏名や所属、審査委員会の開催結果、提案書に関する各審査項目における講評や、最後の総評では、これについては、事業実施にあたり配慮すべき事項や要望事項などが記載されたものとなります。

説明は、以上となります。

(施設担当次長)

先ほどの【資料2 提案の概要】につきましては、仕様の右上に示しているとおり、『入札時の提案概要』ということでありまして、今後の実施設計の中で変更する可能性がありますことをご留意ください。

それでは、ただいま説明した新中間処理施設整備事業について、ご質問等があれば伺います。

(更別村)

試算結果の中で、入札価格に関する得点がありますが、0.2ポイントという点数差の考え方を確認したい。

(事務局)

価格の点数化につきましては、落札者決定基準で点数化の計算式が決まっており、最低価格を40点満点とし、もう一つの価格については、最低価格を分子にして、もう一方のグループの入札価格を分母として算出された数値を40点に乗じたものが得点となります。

例えば金額差が1割だとしたら、36点となりますが、今回の結果については、価格差が小さいため、点数差については、非常に小さな結果となっております。

(更別村)

9月下旬公表予定の審査講評については、構成市町村が事前に内容について確認できるのか。

(事務局)

審査講評については、審査委員内でのやり取りになりますので、構成市町村の皆様には完成したものをお見せすることとなります。

(施設担当次長)

他に質問はございますでしょうか。無いようですので、『議事(2)その他』に入ります。

皆様から、何かございますでしょうか？

—— 発言なし ——

(施設担当次長)

無いようですので、本日予定しておりました議事については、全て終了となります。

本日の会議の内容につきましては、後日、組合のホームページで公開することとしております。

それでは、今後の検討会議について、事務局より説明いたします。

(事務局)

今後の検討会議の開催につきましては会議の中でご説明しておりますけれども、10月下旬の開催を予定しております。

内容としては全体事業費についてご説明させていただく予定ですが、9月下旬には審査講評の公表をする予定となっておりますので、審査講評の内容も踏まえた検討会議になろうかと思いません。説明は以上です。

3. 閉会

(施設担当次長)

以上を持ちまして、本日の会議を終了いたします。

本日はお忙しい中 お集まりいただき ありがとうございます。